

令和 3 年度 学校評価アンケート分析結果

宮城県登米総合産業高等学校

1 調査対象 (在籍生徒数 [令和3年11月1日現在] および調査回答人数) ※ 問いによって無回答あり

学年 性別	第1学年		第2学年		第3学年		生徒計	保護者	教職員
	男子	女子	男子	女子	男子	女子			
在籍数	84	32	91	48	101	56	412	412	66
回答数	84	32	90	48	98	56	408	319	65
回答率	100%	100%	99%	100%	97%	100%	99%	77%	98%
							昨年度回収率		
							98%	74%	100%

2 調査期間および調査方法 令和3年11月18～30日 ・ 質問紙法

3 調査内容およびアンケート調査結果集計概要 (単位: %)

(1) [学習指導] 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	28.4%	15.2%	18.2%	20.1%	83.6%	21.5%	84.7%	19.7%	89.2%	22.4%	85.4%	17.2%	90.6%	15.8%	97.4%						
だいたい当てはまる	60.3%	71.7%	58.4%	63.5%	83.6%	63.2%	84.7%	69.5%	89.2%	63.0%	85.4%	73.4%	90.6%	81.6%	97.4%						
あまり当てはまらない	10.3%	11.6%	16.9%	13.2%	16.4%	12.6%	15.3%	10.5%	10.8%	12.2%	14.6%	7.8%	9.4%	2.6%	2.6%						
当てはまらない	0.9%	1.4%	6.5%	3.2%	16.4%	2.7%	15.3%	0.3%	10.8%	2.5%	14.6%	1.6%	9.4%	0.0%	2.6%						

(2) [生徒指導] 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	47.4%	29.7%	22.1%	31.9%	88.0%	28.2%	86.8%	24.0%	84.5%	23.8%	83.1%	32.3%	89.2%	27.6%	90.8%						
だいたい当てはまる	49.1%	60.9%	57.1%	56.1%	88.0%	58.6%	86.8%	60.6%	84.5%	59.4%	83.1%	56.9%	89.2%	63.2%	90.8%						
あまり当てはまらない	3.4%	8.7%	14.9%	9.6%	12.0%	9.2%	13.2%	14.5%	15.5%	13.5%	16.9%	10.8%	10.8%	9.2%	9.2%						
当てはまらない	0.0%	0.7%	5.8%	2.5%	12.0%	4.0%	13.2%	0.9%	15.5%	3.3%	16.9%	0.0%	10.8%	0.0%	9.2%						

(3) [進路指導] 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	38.8%	29.2%	26.6%	31.0%	92.9%	33.3%	90.6%	24.2%	84.0%	29.6%	82.6%	21.5%	89.2%	27.6%	94.7%						
だいたい当てはまる	59.5%	65.0%	61.0%	61.9%	92.9%	57.3%	90.6%	59.7%	84.0%	53.0%	82.6%	67.7%	89.2%	67.1%	94.7%						
あまり当てはまらない	1.7%	5.1%	8.4%	5.4%	7.1%	7.3%	9.4%	14.2%	16.0%	15.2%	17.4%	10.8%	10.8%	5.3%	5.3%						
当てはまらない	0.0%	0.7%	3.9%	1.7%	7.1%	2.1%	9.4%	1.9%	16.0%	2.2%	17.4%	0.0%	10.8%	0.0%	5.3%						

(4) [教育相談] 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	42.2%	31.9%	22.7%	31.4%	89.2%	27.0%	86.8%	23.6%	85.0%	21.8%	80.7%	46.2%	93.8%	40.8%	98.7%						
だいたい当てはまる	52.6%	60.1%	59.7%	57.8%	89.2%	59.8%	86.8%	61.5%	85.0%	58.8%	80.7%	47.7%	93.8%	57.9%	98.7%						
あまり当てはまらない	5.2%	5.1%	12.3%	7.8%	10.8%	10.3%	13.2%	13.4%	15.0%	15.7%	19.3%	6.2%	6.2%	1.3%	1.3%						
当てはまらない	0.0%	2.9%	5.2%	2.9%	10.8%	2.9%	13.2%	1.6%	15.0%	3.6%	19.3%	0.0%	6.2%	0.0%	1.3%						

(5) [部活動] 部活動は活発に行われている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	59.5%	44.9%	26.6%	42.2%	90.7%	39.5%	88.1%	34.5%	87.7%	33.4%	85.9%	15.4%	81.5%	23.7%	88.2%						
だいたい当てはまる	37.1%	50.0%	55.8%	48.5%	90.7%	48.5%	88.1%	53.2%	87.7%	52.5%	85.9%	66.2%	81.5%	64.5%	88.2%						
あまり当てはまらない	3.4%	4.3%	12.3%	7.1%	9.3%	10.5%	11.9%	11.1%	12.3%	11.0%	14.1%	16.9%	18.5%	10.5%	11.8%						
当てはまらない	0.0%	0.7%	5.2%	2.2%	9.3%	1.5%	11.9%	1.3%	12.3%	3.0%	14.1%	1.5%	18.5%	1.3%	11.8%						

(6) [生徒会活動] 生徒会活動は活発に行われている

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	34.8%	22.5%	20.9%	25.4%	81.0%	27.2%	78.9%	17.6%	78.8%	18.5%	80.7%	9.4%	84.4%	18.4%	89.5%						
だいたい当てはまる	54.8%	57.2%	54.9%	55.7%	81.0%	51.7%	78.9%	61.2%	78.8%	62.2%	80.7%	75.0%	84.4%	71.1%	89.5%						
あまり当てはまらない	8.7%	16.7%	13.1%	13.1%	19.0%	15.1%	21.1%	20.8%	21.2%	16.9%	19.3%	14.1%	15.6%	10.5%	10.5%						
当てはまらない	1.7%	3.6%	11.1%	5.9%	19.0%	6.1%	21.1%	0.3%	21.2%	2.5%	19.3%	1.6%	15.6%	0.0%	10.5%						

(7) [学校行事] 有意義な学校行事がある

項目	1年			2年			3年			生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	37.9%	26.3%	16.9%	26.0%	78.4%	25.5%	79.7%	20.1%	72.6%	22.1%	76.5%	13.8%	81.5%	21.1%	92.1%						
だいたい当てはまる	46.6%	56.2%	53.2%	52.3%	78.4%	54.2%	79.7%	52.5%	72.6%	54.4%	76.5%	67.7%	81.5%	71.1%	92.1%						
あまり当てはまらない	14.7%	13.9%	18.8%	16.0%	21.6%	14.4%	20.3%	23.0%	27.4%	20.4%	23.5%	18.5%	18.5%	7.9%	7.9%						
当てはまらない	0.9%	3.6%	11.0%	5.7%	21.6%	5.9%	20.3%	4.4%	27.4%	3.0%	23.5%	0.0%	18.5%	0.0%	7.9%						

(8) [特色ある学校づくり①] インターンシップや企業見学などの地域の人と関わる機会を多く取り入れている

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	24.3%	25.5%	19.5%	22.9%	76.4%	28.0%	83.1%	20.0%	69.2%	27.6%	79.0%	21.5%	73.8%	19.7%	84.2%
だいたい当てはまる	53.9%	51.1%	55.2%	53.4%		55.0%		49.2%		51.4%		52.3%		64.5%	
あまり当てはまらない	20.9%	19.7%	20.1%	20.2%		13.2%	16.9%	26.7%	30.8%	17.4%	21.0%	23.1%	26.2%	15.8%	15.8%
当てはまらない	0.9%	3.6%	5.2%	3.4%		3.8%		4.1%		3.6%		3.1%		0.0%	15.8%

(9) [特色ある学校づくり②] 専門性を生かすなど特色ある学校づくりに取り組んでいる

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	48.3%	38.2%	26.6%	36.7%	91.6%	41.4%	93.1%	37.5%	93.7%	36.2%	91.7%	44.6%	90.8%	43.4%	97.4%
だいたい当てはまる	47.4%	55.9%	59.7%	54.9%		51.7%		56.2%		55.5%		46.2%		53.9%	
あまり当てはまらない	4.3%	4.4%	9.1%	6.2%	8.4%	6.1%	6.9%	6.0%	6.3%	7.5%	8.3%	9.2%	9.2%	1.3%	2.6%
当てはまらない	0.0%	1.5%	4.5%	2.2%		0.8%		0.3%		0.8%		0.0%		1.3%	2.6%

(10) [防災教育] 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	42.2%	34.3%	26.6%	33.7%	88.7%	34.5%	86.8%	22.9%	83.8%	25.4%	82.9%	29.2%	96.9%	28.9%	98.7%
だいたい当てはまる	50.0%	56.9%	57.1%	55.0%		52.3%		61.0%		57.5%		67.7%		69.7%	
あまり当てはまらない	6.9%	6.6%	11.0%	8.4%	11.3%	10.7%	13.2%	14.9%	16.2%	15.2%	17.1%	3.1%	3.1%	1.3%	1.3%
当てはまらない	0.9%	2.2%	5.2%	2.9%		2.5%		1.3%		1.9%		0.0%		0.0%	1.3%

(11) [開かれた学校づくり] 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	53.4%	43.4%	30.5%	41.4%	92.1%	39.1%	90.8%	41.3%	94.3%	46.4%	92.8%	35.9%	95.3%	27.6%	97.4%
だいたい当てはまる	44.0%	50.0%	56.5%	50.7%		51.7%		53.0%		46.4%		59.4%		69.7%	
あまり当てはまらない	2.6%	5.1%	7.8%	5.4%	7.9%	7.5%	9.2%	4.4%	5.7%	5.8%	7.2%	4.7%	4.7%	2.6%	2.6%
当てはまらない	0.0%	1.5%	5.2%	2.5%		1.7%		1.3%		1.4%		0.0%		0.0%	2.6%

(12) [施設整備] 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	52.2%	40.1%	31.2%	40.1%	90.1%	40.6%	91.0%	41.4%	95.9%	43.1%	92.3%	27.7%	81.5%	26.3%	92.1%
だいたい当てはまる	43.5%	54.7%	50.6%	50.0%		50.4%		54.5%		49.2%		53.8%		65.8%	
あまり当てはまらない	4.3%	3.6%	11.0%	6.7%	9.9%	6.7%	9.0%	2.9%	4.1%	6.1%	7.7%	15.4%	18.5%	3.9%	7.9%
当てはまらない	0.0%	1.5%	7.1%	3.2%		2.3%		1.3%		1.7%		3.1%		3.9%	7.9%

(13) [いじめ問題] 日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	33.0%	20.3%	20.3%	23.9%	78.6%	23.2%	76.6%	15.7%	69.3%	15.7%	69.9%	32.8%	90.6%	31.6%	94.7%
だいたい当てはまる	53.0%	61.6%	49.7%	54.7%		53.3%		53.7%		54.1%		57.8%		63.2%	
あまり当てはまらない	13.0%	15.2%	17.6%	15.5%	21.4%	16.3%	23.4%	26.8%	30.7%	24.3%	30.1%	7.8%	9.4%	3.9%	5.3%
当てはまらない	0.9%	2.9%	12.4%	5.9%		7.1%		3.8%		5.8%		1.6%		1.3%	5.3%

(14) [環境美化] 環境美化に取り組んでいる

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度		職員計		昨年度	
よく当てはまる	28.7%	23.4%	19.1%	23.3%	83.9%	26.4%	78.7%	27.3%	91.1%	27.6%	89.0%	27.7%	83.1%	26.3%	96.1%
だいたい当てはまる	61.7%	66.4%	54.6%	60.6%		52.3%		63.8%		61.3%		55.4%		69.7%	
あまり当てはまらない	9.6%	8.0%	15.8%	11.4%	16.1%	16.9%	21.3%	8.3%	8.9%	9.4%	11.0%	16.9%	16.9%	3.9%	3.9%
当てはまらない	0.0%	2.2%	10.5%	4.7%		4.4%		0.6%		1.7%		0.0%		0.0%	3.9%

(15) [総合満足度] 学校生活は充実している

項目	1年	2年	3年	生徒計		昨年度		保護者計		昨年度	
よく当てはまる	39.7%	26.5%	20.8%	28.1%	80.5%	27.6%	83.7%	30.6%	86.1%	37.0%	89.0%
だいたい当てはまる	45.7%	58.8%	51.9%	52.5%		56.1%		55.5%		51.9%	
あまり当てはまらない	11.2%	9.6%	16.9%	12.8%	19.5%	11.9%	16.3%	10.3%	13.9%	8.0%	11.0%
当てはまらない	3.4%	5.1%	10.4%	6.7%		4.4%		3.5%		3.0%	

4 総合的な考察

全体的に全ての項目において8割以上の肯定的な意見を生徒・保護者から頂いている。その中において注目すべきものは、質問事項の7番と8番、そして13番、15番である。7番の「有意義な学校行事」と8番の「インターンシップ等の外部との関わり」においては、コロナ禍の影響で中止や延期したものが多かったことから、昨年度より肯定的な意見はポイントが下がっている。

また13番の「いじめの実態把握について」は、今年度、東京大学で開発した「心の健康診断」を県内初で導入し、早期発見に努めてきた。しかしながら、その認知度は初年度ということもあり、保護者には伝わりづらいものがあった。

最後に15番の「学校生活の充実度」については決して低い数値ではないが、今年度の本校の重点事項で85%の充実度(満足度)を目指していることから、現状をよしとせず生徒の学校生活の充実度上げる方策をコロナ禍を見据えながら意識して取り組んでいく必要がある。

5 調査内容ごとの分析と改善に向けた取り組み

(1) 「学習指導」学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている

<分析>

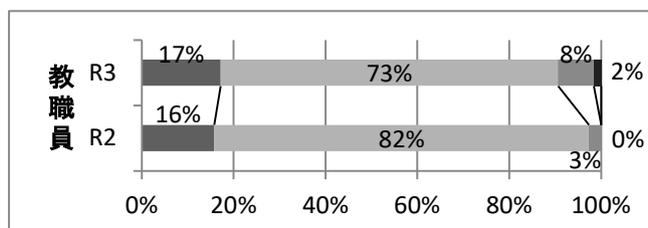
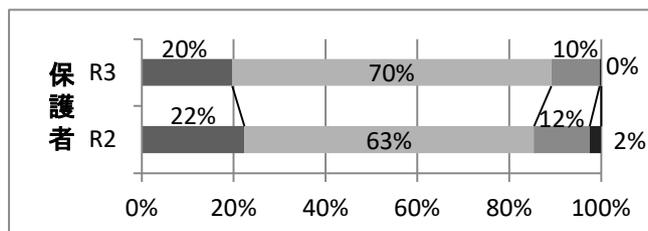
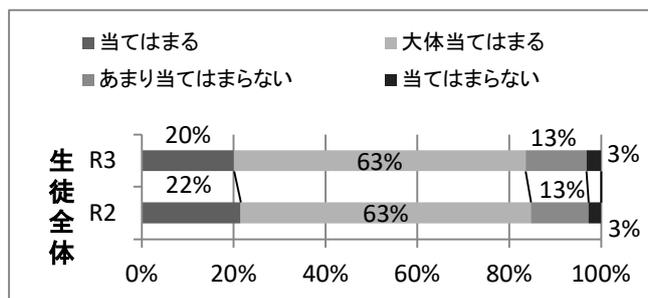
【生徒】肯定的意見が昨年度と比較し、1.1ポイント下降してしましたが、8割以上の生徒が授業や学習内容に対して肯定的に捉えている。今年度もコロナ禍の影響で分散登校等の措置を講じたが、授業内容の工夫やオンラインでの授業などでICT活用の充実が図られたことが要因と考えられる。

【保護者】肯定的意見が昨年度と比較し、3.8ポイント上昇し、89.2%となった。コロナ禍の状況ではあったが、分散登校時にはオンラインでの授業やG-suiteの活用、また普段の学校生活においても各教科での授業の工夫、各科の取組、また学習のみならず生徒の活躍等が生徒やメール配信、報道等を通じて保護者の目にも入る状況が多くあったためと思われる。

【教職員】肯定的意見が昨年度より6.8ポイント下降した。授業内容の工夫やICTの活用など実施している反面、コロナ禍の影響により授業計画の変更等があり、計画的な授業展開が難しい状況があったためと思われる。

<改善に向けた取り組み>

「授業スタンダード」を設けて3年目となる。多くの生徒は落ち着いて学校生活を送っているものと思われるが、一部の生徒において授業に集中できない生徒も見受けられた。また、昨年度に引き続き学習についてもコロナ禍の影響を多く受けた。そうした中で、学習指導における肯定的意見が8割を超えていることは喜ばしい結果だと感じている。ICTの活用や教科、学年、分掌を問わず基礎学力定着に向けて様々な取組を実施していただいたことが要因だと考えている。次年度も引き続き学ぶ意欲を引き出す指導や支援、方策を重要な課題として捉えていきたい。



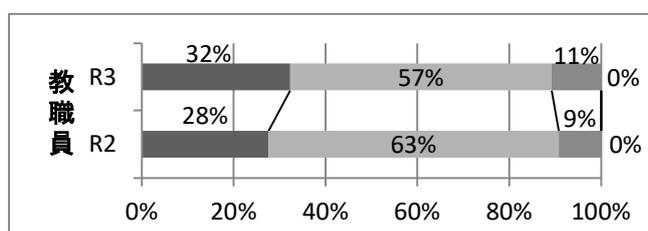
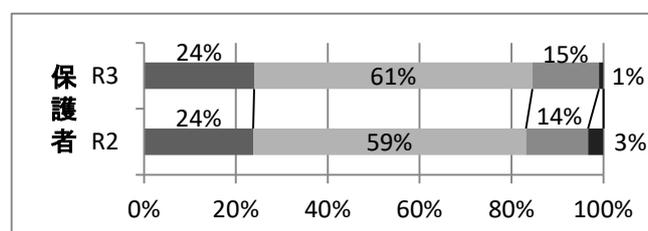
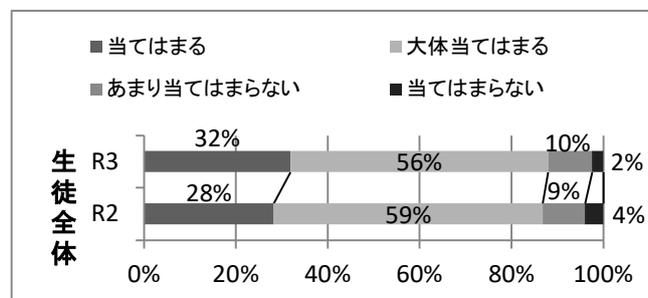
(2) 「生徒指導」挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている

<分析>

肯定的回答が生徒・保護者において80%を超えている。登米総STD確立に向けた取組において、「愛」スローガンを掲げた取り組みや、図書部の全面的協力を得ての遅刻指導、生徒指導部と全職員による朝の立ち番指導などこれまでの学年での指導に加え、学科からの協力もあって効果が現れてきた。また、学校メール配信による連絡や、校長室便りにおいて学校の取り組みの紹介や生徒の活躍等の情報発信も一助となった。

<改善に向けた取り組み>

登米総STD確立に向け、朝の昇降口指導を軸として、教育活動の様々な場面において地道に全職員で取り組む必要がある。生活習慣の確立に向け生徒が見通しを持ちながら行動できる支援が必要である。



(3) [進路指導] 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている

<分析>

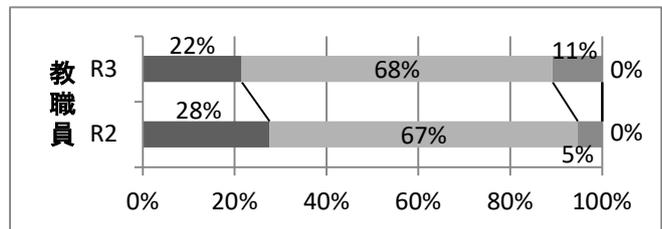
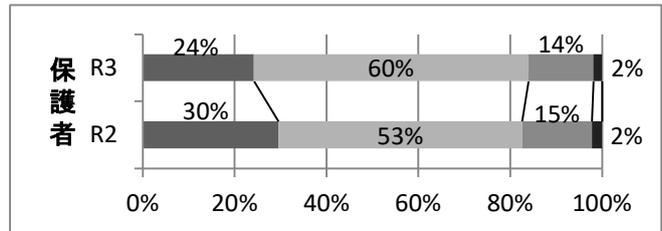
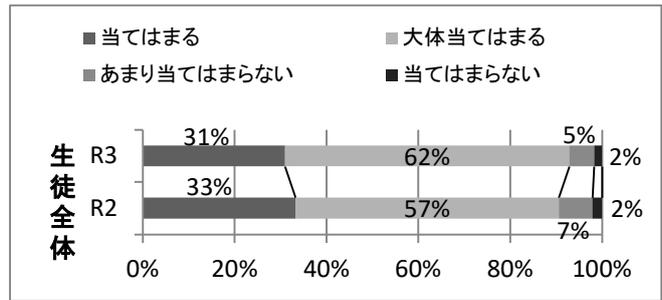
肯定的意見の割合の推移(昨年度→今年度)

- ・生徒：90.6%→92.9%
- ・保護者：82.6%→84.0%
- ・教職員：94.7%→89.2%

上記の結果から、本校の進路指導に対して概ね評価をいただいていると考えられる。コロナの影響により、今年度も予定行事の多くに内容や方法等の変更が発生した。特にインターンシップは中止にせざるを得なかったが、その代替指導として企業調べ活動や職業講話等を行い、インターンシップで身に付けたい力の育成に努めた。その他の進路行事においても、会場を分散させたりオンラインを活用するなど工夫しながら実施した。行事だけではなく普段の高校生活のさまざまな機会においても、生徒の進路意識向上や目標の明確化を助けていけるような進路活動を、引き続き行っていきたい。

<改善に向けた取り組み>

- ・進路指導室の定期的な環境整備に努め、企業や学校に関する情報提供をより充実させる。
- ・適切な進路指導を行えるよう、職員の情報交換や研修を積極的に行う。
- ・進路指導の内容について十分に反省を行い、年間計画の見直しを行う。(行事、模試等)



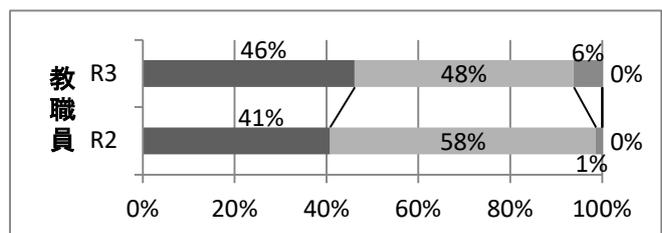
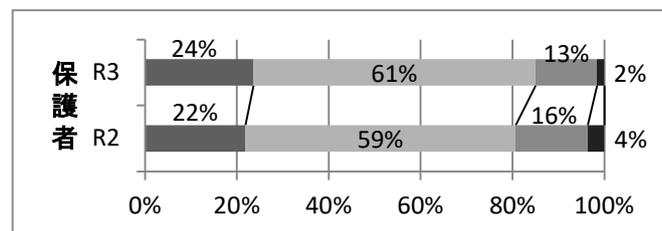
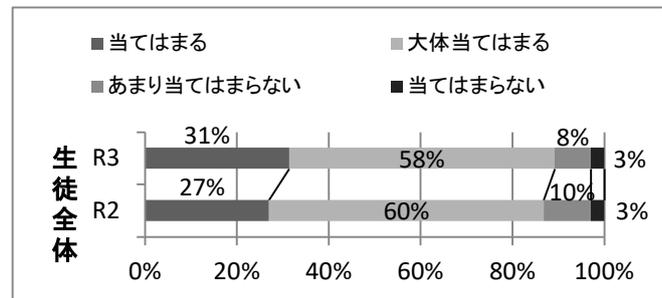
(4) [教育相談] 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている

<分析>

- ・昨年度と比較し、生徒全体、保護者においては肯定的な回答の割合が増加している。一方、教職員では「あまり当てはまらない」という回答が少数ではあるが確認できた。
- ・SC、SSWの活用については、学年の先生方、保健室を中心に、カウンセリングに繋げたい生徒を確実に繋ぎ、継続的に支援できたのが評価として示されたのではないかと。

<改善に向けた取り組み>

- ①「心の健康診断」について
 - ・導入初年度ということで、今年度は全校一斉の実施としたが、効果的な活用法に向け、今後も様々な角度から有効となる手段を検討していく。
- ②SC・SSWの活用について
 - ・特にカウンセリングは、予約で枠が埋まってしまう、柔軟に対応しにくい状況が見られることがあった。担任との連絡調整も含め、多くの生徒・教員がカウンセリングを利用しやすい環境整備を図る必要がある。今年度取り入れた、校務支援システムを利用して連絡調整を図る方法は、さらに効果的に活用できるようにしたい。



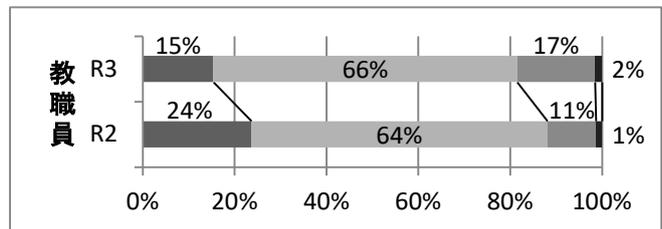
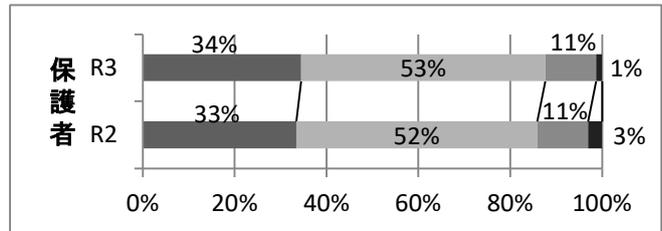
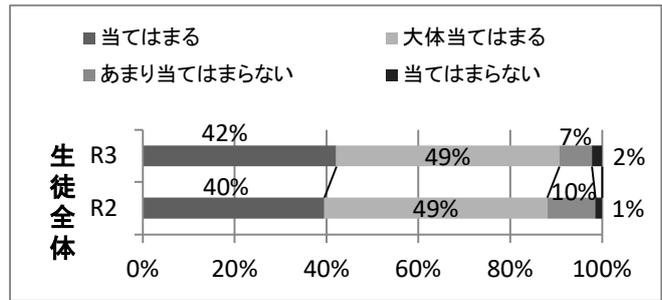
(5) [部活動] 部活動は活発に行われている

<分析>

肯定的回答が生徒90%に上昇，保護者も80%以上と上昇しているが，教職員は80%を超えているが昨年より低下している。昨年度は新型コロナウイルスの影響で，大会が中止になったこともあり，部活動加入率が減少傾向でしたが，今年度はアーチェリー部・空手道部・機械工作部・吹奏楽部などが上位大会の出場を果たした。この状況下においても前向きに，各部でできる活動を続けたことが今年度の肯定的回答の増加に繋がったと考える。

<改善に向けた取り組み>

次年度も部活動への積極的参加を呼びかけ加入率の増加を目指し，各部が上位での結果を残せるように部活動数・部費の割り振りなどを検討する。年度初めには部活動紹介を充実させ，部活動登録まで生徒会からの呼びかけや部員による勧誘活動を実施する。また，新型コロナウイルスの予防にも努めながら，部活動を活発的に実施していく。



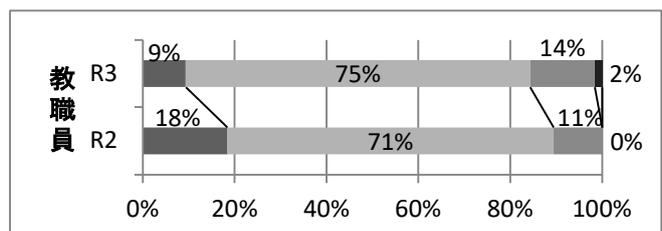
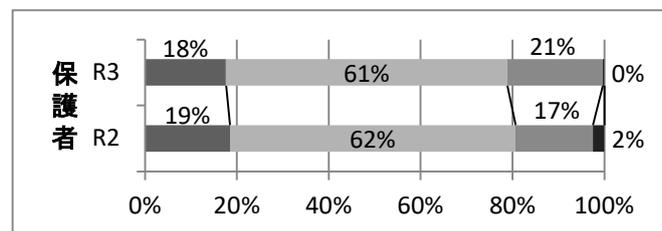
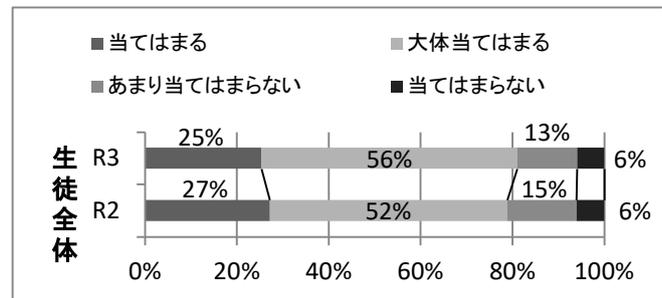
(6) [生徒会活動] 生徒会活動は活発に行われている

<分析>

生徒会活動について肯定的な評価が80%を超えている。特に生徒の評価は昨年よりも高くなっている。コロナウイルスの影響があったものの，生徒会による挨拶運動や産業祭・スポーツ大会などを工夫して行ったことが良かったのではないかと考える。

<改善に向けた取り組み>

保護者並びに教職員の肯定的な意見が昨年度より低下している。保護者の立場に立つと仕事が忙しい中で自分の育てている子供が学校ではどのような立ち振る舞いをしているか気になるのは当然だと思われる。しかし，コロナ禍により，残念ながら学内だけではなく，大会の様子等も見ることが奪われており，なかなか子供たちが努力している様子が見えにくいという現状にある。保護者の方が学校の様子を見る機会を確保するためにも，ホームページに活動の様子をアップする等，生徒会活動の周知方法において改善を行う。



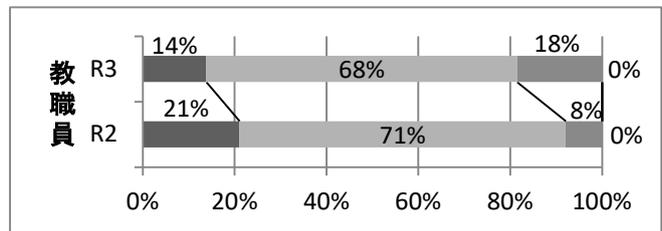
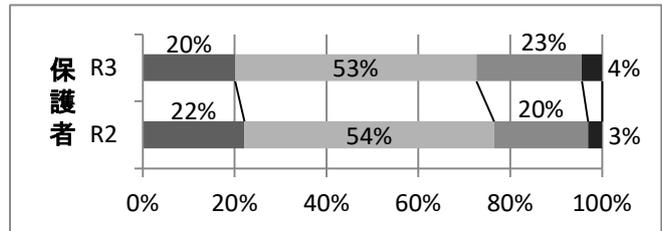
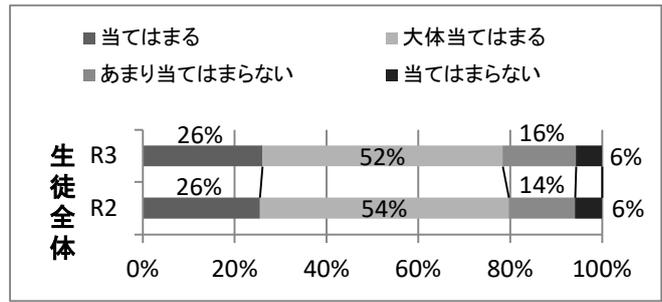
(7) [学校行事] 有意義な学校行事がある

<分析>

コロナによる分散登校や活動規模縮小の為、肯定的回答が昨年より減少した。
3学年生徒の修学旅行がなくなり、1日のみの代替行事になったこと、2学年の修学旅行が延期になったこと、近隣の学校の状況を踏まえながらではあったが、産業祭が2日開催から1日開催に年度途中で変更になったことが影響したのではないと思われる。

<改善に向けた取り組み>

コロナも落ち着いてきて活動ができるようになってきた。生徒自ら主体的に活動できる環境を、準備していきたい。
新型コロナウイルス感染症も落ち着いてきて、今の所ではあるが来年度の産業祭は2日開催予定で、1学年が2学年に進級した際の修学旅行も実施予定である。コロナ禍のため流動的にはなるが、工夫を凝らして生徒の思い出に残る行事を企画運営できるように努めて参りたい。



(8) [特色ある学校づくり①]

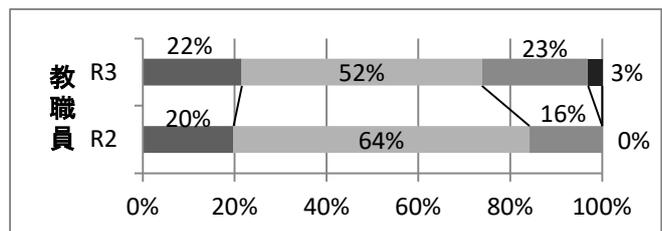
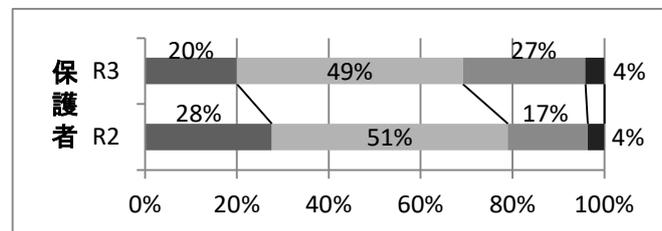
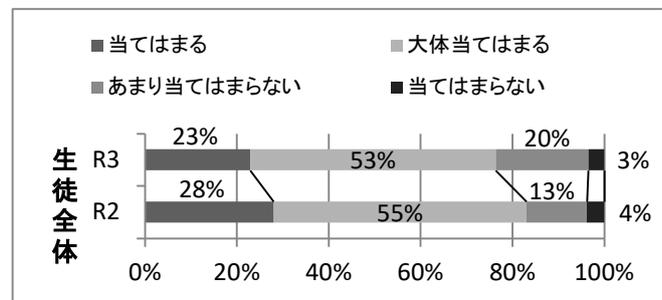
インターンシップや企業見学などの地域の人と関わる機会を多く取り入れている

<分析>

肯定的意見の割合の推移として、生徒・保護者・教職員ともに肯定的意見の割合が80%以下に大きく下降した。これは昨年同様、新型コロナウイルス感染症の蔓延とその収束の目処が立たないことが要因であるといえる。昨年度もほとんど実施することができなかった様々な地域連携活動が、今年度も前期はほとんど実施することができなかったことが、肯定的意見の低下の主な要因である。産業基礎や起業実践において、多くの制限がある中、各担当教員は可能な範囲での活動を模索し、実践してきたが肯定的評価にはつながらなかった。10月以降の新型コロナウイルスの一時的な沈静化にともない、本校の特色ある教育活動である地域産業への貢献や実践的教育に向けた取り組みが回復した傾向にあったが、今回の学校評価には反映されなかったと分析した。

<改善に向けた取り組み>

今年度は、教育面における新型コロナの対策としてICT環境も整備され、インターネットを利用した動画配信や授業など、地域の人とかかわるための工夫もされてきている。次年度は、社会情勢が回復し次第、例年同様の取り組みを実施することはもちろんのこと、新型コロナの再流行時においても柔軟な対応を取ることで、肯定的意見の上昇を期待している。



(9) [特色ある学校づくり②] 専門性を生かすなど特色ある学校づくりに取り組んでいる

<分析>

肯定的意見の割合の推移(昨年度→今年度)

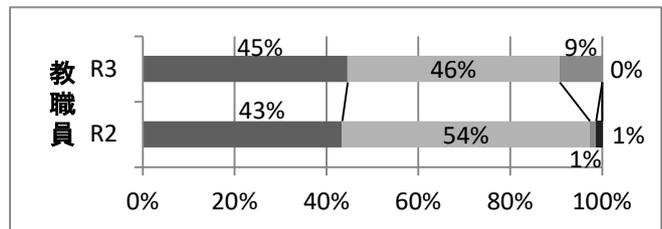
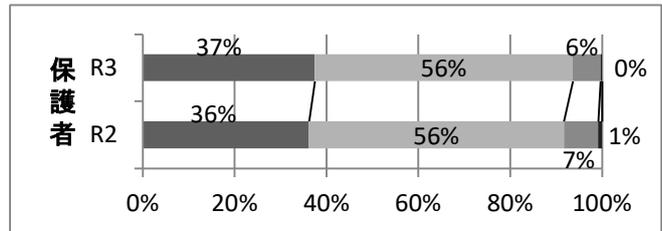
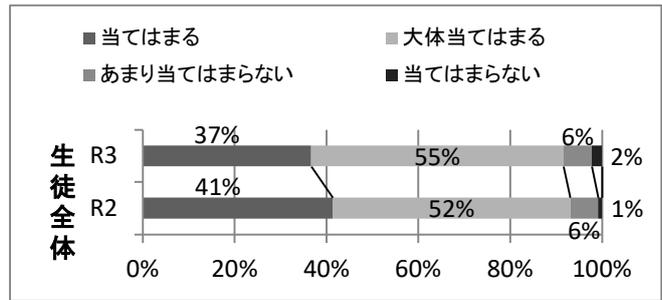
- ・生徒：93% → 92%
- ・保護者：92% → 94%
- ・教職員：97% → 91%

細かな数値の変動はあったものの、コロナ禍での各学科の専門性をいかした教育活動が十分に行われ、生徒も保護者も特色のある学校づくりに取り組むことができていると捉えている。教職員において肯定的意見が6%下降したのは、昨年度に引き続きコロナ感染症の影響で行事の中止等あり、様々な活動が制限下にあったことを教職員が冷静に分析した結果であると思われる。

しかし、いずれも9割を超す肯定的な意見であり、目的は達成できていると言える。

<改善に向けた取り組み>

コロナ禍での社会情勢を見据えつつ、今年度同様取り組んでいく。



(10) [防災教育] 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている

<分析>

肯定的意見の割合の推移(昨年度→今年度)

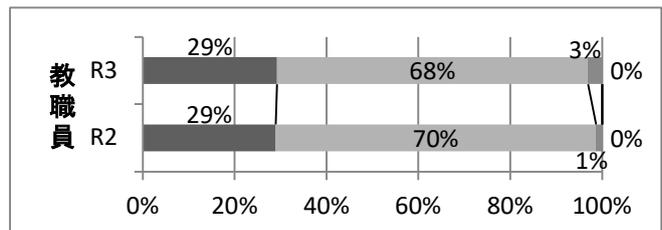
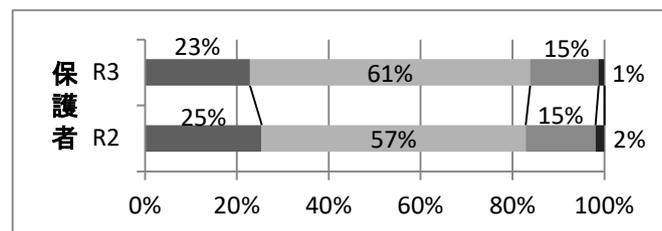
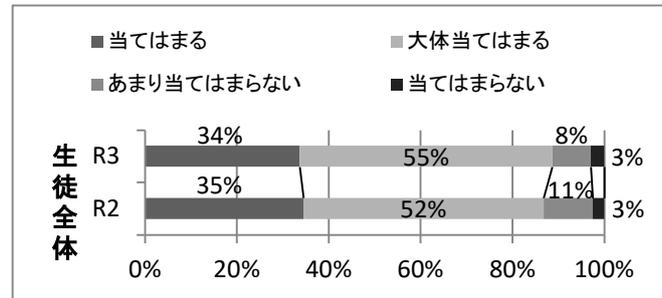
- ・生徒：86.8% → 88.6%
- ・保護者：82.9% → 83.8%
- ・教職員：98.7% → 96.9%

生徒・保護者の肯定的な意見の割合がいずれも上昇し、教職員は微減した。今年度もコロナ感染症の影響から、避難方法や避難経路、避難場所等を変更した防災避難訓練を実施した。昨年度の反省を受け、教室には避難経路を掲示、防火扉の位置が分からないとの反省に対応して事前に「防火扉」の標示と開閉点検を実施したことにより肯定的意見が増えたと思われる。避難訓練は2回とも大変速やかに行われたが、2回目は先生方の意見を反映し、避難時に生徒が交差しない経路を更に工夫した。また、コロナ禍のため消防署の方が来校しての指導ができなかったため、各HRにおいて煙の危険性や正しい消火方法、校内の消火器設置場所について動画視聴等で防災意識を高める指導を行い、生徒からは大変わかりやすかったとの感想が多かった。

通年において、一斉メール配信もスムーズであり、災害時の連絡方法としても活用できる状況にある。さらに、昨年度に引き続き保護者の協力を得て「緊急連絡・引き渡しカード」を作成・更新も行った。

<改善に向けた取り組み>

「緊急連絡・引き渡しカード」の保管・運用等にまだ改善が必要と思われる。緊急時に教員がどう行動すべきか、カードをどう使うべきか等フローチャートの形式で手順をシミュレーションできるよう工夫が必要である。本校の立地環境としては、水害を除いては比較的災害を受ける可能性が少ない地域といえるが、生徒が広範囲から通学している状況を考えると、在校中のみならず通学時における安全について考えていく必要がある。また、防災マニュアルの不足部はほぼ補うことができたが、地域防災との連携が未だ不十分であり、次年度は具体的な連携活動の計画を目指す。



(11) [開かれた学校づくり] 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている

<分析>

肯定的意見の割合の推移(昨年度→今年度)

- ・生徒：91% → 92%
- ・保護者：93% → 94%
- ・教職員：98% → 95%

肯定的回答は生徒・保護者、教職員のいずれも9割を超え、高い支持を受けている。

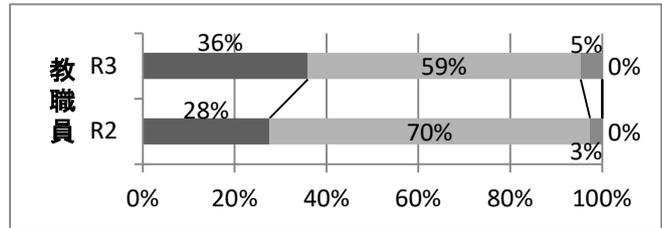
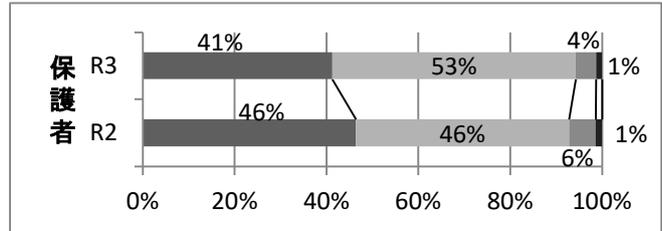
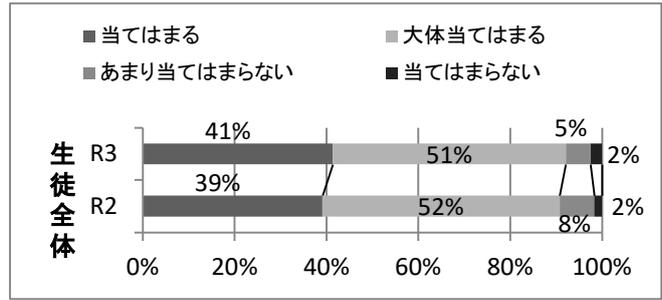
要因としては、「学校だより」をはじめ各種便りの発行、生徒・保護者へのメール配信に加えて、学校HPやブログの更新、さらにコロナ禍にあつて、各種学校行事の発信もICTを活用して積極的に行った結果であると言える。

また保護者も、ICTを活用した情報の受け取りに慣れてきたところもあり、情報発信がスムーズになってきている。

<改善に向けた取り組み>

今年度はコロナ禍の状況も続いており、昨年度同様、保護者が学校に参観する機会が殆ど無かったので、学校での取組を今後どう伝えていくか、工夫がさらに必要となる。

また、今年度の取組として学校の活動状況や様子をマスコミに取材していただき、その模様を保護者のみならず、地元の中学生にも紙面を通して広報したところ、反響が良かったので、次年度も積極的に行っていきたい。



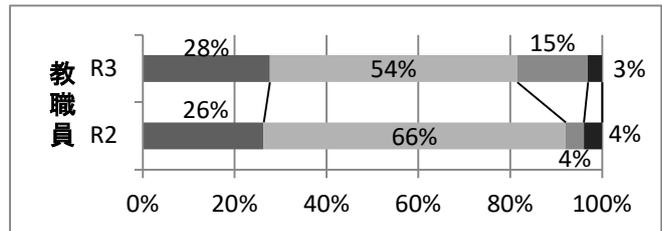
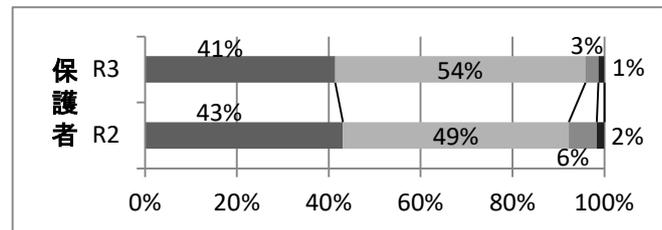
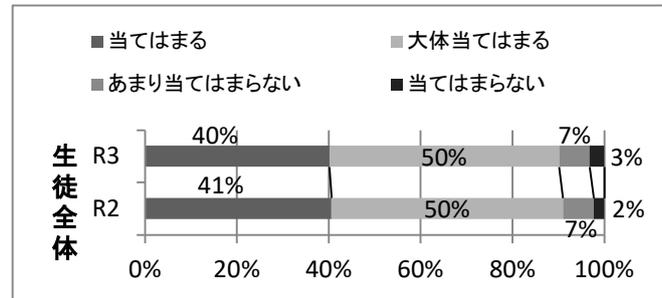
(12) [施設整備] 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている

<分析>

肯定的評価が、生徒・保護者とも90%を超え、特に保護者の評価は昨年度より3.0ポイント上昇している。普通教室のエアコン設置工事が完了し、7月から供用開始となったことが考えられる。今後も生徒が安心して、学校生活ができる施設とするため、定期的にくまめな点検を行い、維持管理に努める。

<改善に向けた取り組み>

- ・施設の修理等は関係機関と協議し、臨時または年次計画により改善を図る。
- ・設備の修理等は各科長と相談し年次計画等により更新を図る。
- ・商業科準備室については、当初の設計に入っていないことから再検討をする必要があり、その後要望等を県教委に伝える予定である。
- ・駐車場の整備については5カ年計画に上げているところである。
- ・農場関係は長期の改修計画等を検討していく予定である。



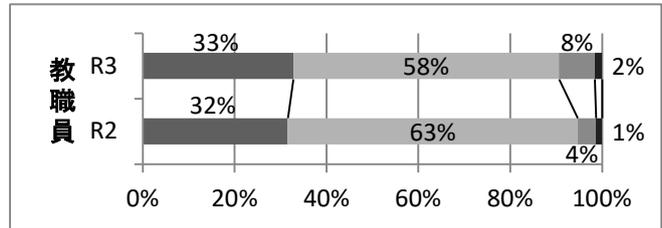
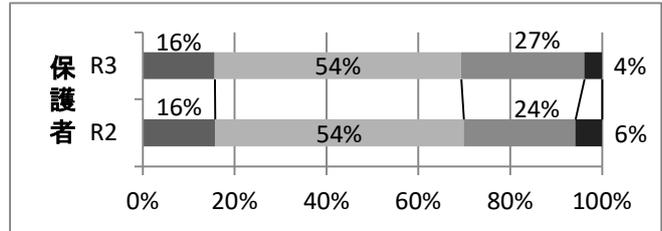
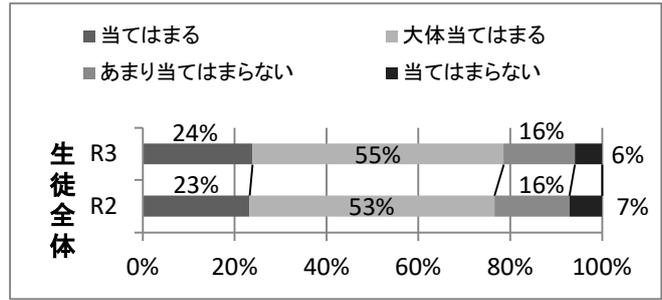
(13) [いじめ問題] 日頃から、いじめの実態把握や早期発見に取り組んでいる

<分析>

肯定的回答が生徒で昨年より上昇し79%となった。教職員では90%とアンケートを封筒に入れて持ち帰る方法等、生徒の為に工夫したことが上昇の要因である。しかし依然として、保護者の30%、生徒の20%が否定的回答となっている。

<改善に向けた取り組み>

いじめは早期発見・早期対応が基本である。潜在的ないじめに対して我々教職員が生徒をよく観察しながら積極的に生徒指導していくことが重要である。定期的にいじめアンケート調査・生活アンケート調査を行い、生徒が訴えやすい環境作りに力を入れたい。落ち着いた環境でアンケートに解答できるよう工夫したい。



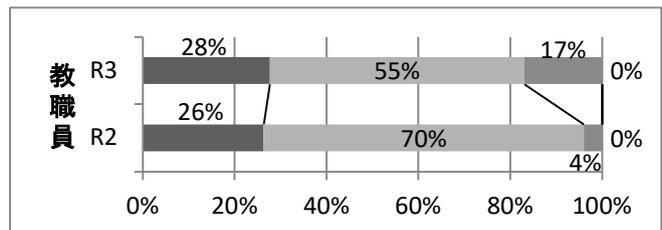
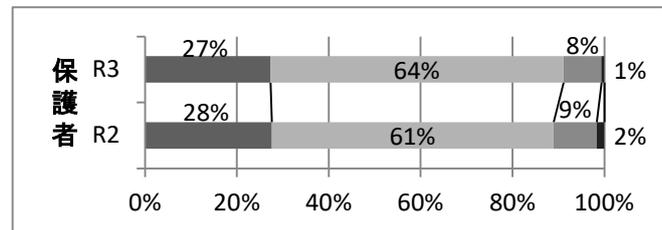
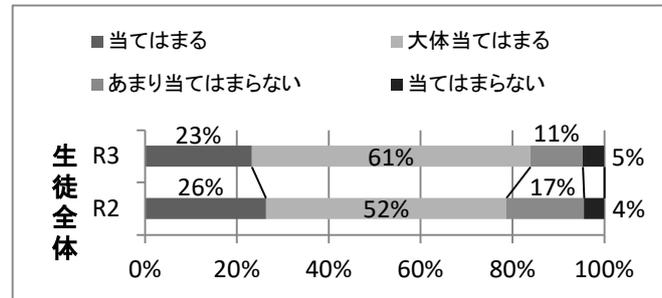
(14) [環境美化] 環境美化に取り組んでいる

<分析>

生徒・保護者・教職員とも80%以上の肯定的な回答が確認できた。日々清掃や消毒を実施している結果が校内の環境美化・衛生保持に貢献できたと思われる。生徒たちも年間を通して積極的に清掃活動に取り組んでいた。

<改善に向けた取り組み>

次年度は保健委員を今年度以上に活用し、今後も環境美化に努めていきたい。



(15) 【総合満足度】 学校生活は充実している

<分析>

肯定的意見の割合の推移(昨年度→今年度)

- ・生徒：84% → 81%
- ・保護者：89% → 86%
- ・教職員：項目なし

肯定的評価は生徒・保護者とも前年度より若干ではあるが、ポイントはマイナスとなった。

要因としては、昨年度に引き続きコロナ禍において、様々な場面で制限が続いており、本来の活動ができない状態が長く続いたことが要因と思われる。

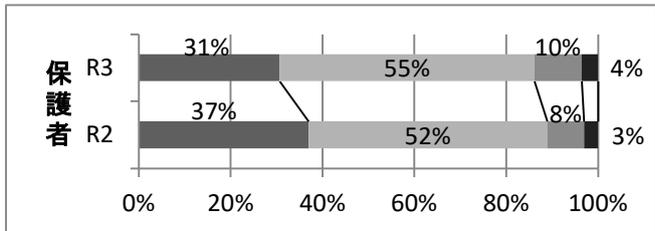
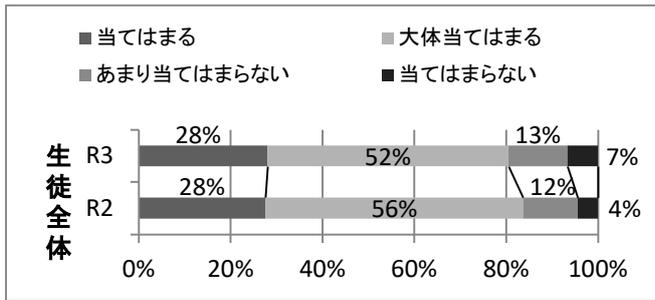
生徒の評価を詳しく見てみると、学年別において肯定的な意見は、1年が86%、2年が85%、3年が73%となっており、3年生の満足度の低さが見られた。これは上記にも述べたが、3年生が学校生活において行事等の制約を一番長く影響を受けている結果と見ることができる。

<改善に向けた取り組み>

コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで、学習や学校行事、部活動に力一杯活動で

きるよう今後の学校の対応策を再確認する。具体的には生徒の学校での活動が意欲的に取り組めるよう行事内容や学習活動の精選や生徒が充実した高校生活を送ることができる環境を教職員間で情報共有し、提供できるよう努力する。

また、普段の学校生活において生徒自身の自己有用感を育める教師の声がけなど細かいことにも意識して取り組んでいく。



6 令和3年度 学校評価 結果データ

<生徒>

	在籍数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
1学年	116	116	当てはまる	33	55	45	49	69	40	44	28	56	49	62	60	38	33	46
			大体当てはまる	70	57	69	61	43	63	54	62	55	58	51	50	61	71	53
		100.0%	あまり当てはまらない	12	4	2	6	4	10	17	24	5	8	3	5	15	11	13
			当てはまらない	1	0	0	0	0	2	1	1	0	1	0	0	1	0	4

	在籍数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
2学年	139	138	当てはまる	21	41	40	44	62	31	36	35	52	47	59	55	28	32	36
			大体当てはまる	99	84	89	83	69	79	77	70	76	78	68	75	85	91	80
		99.3%	あまり当てはまらない	16	12	7	7	6	23	19	27	6	9	7	5	21	11	13
			当てはまらない	2	1	1	4	1	5	5	5	2	3	2	2	4	3	7

	在籍数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
3学年	157	154	当てはまる	28	34	41	35	41	32	26	30	41	41	47	48	31	29	32
			大体当てはまる	90	88	94	92	86	84	82	85	92	88	87	78	76	83	80
		98.1%	あまり当てはまらない	26	23	13	19	19	20	29	31	14	17	12	17	27	24	26
			当てはまらない	10	9	6	8	8	17	17	8	7	8	8	11	19	16	16

	在籍数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
生徒計	412	408	当てはまる	82	130	126	128	172	103	106	93	149	137	168	163	97	94	114
			大体当てはまる	259	229	252	236	198	226	213	217	223	224	206	203	222	245	213
		99.0%	あまり当てはまらない	54	39	22	32	29	53	65	82	25	34	22	27	63	46	52
			当てはまらない	13	10	7	12	9	24	23	14	9	12	10	13	24	19	27

<保護者>

	在籍数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
1学年	116	103	当てはまる	25	25	22	26	46	17	26	24	48	27	49	48	18	31	39
			大体当てはまる	70	69	64	63	46	66	61	50	49	60	49	51	56	67	54
		88.8%	あまり当てはまらない	8	9	14	10	10	17	12	21	4	15	3	1	22	4	6
			当てはまらない	0	0	3	2	1	1	4	6	1	1	1	1	4	0	3

	在籍数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
2学年	139	106	当てはまる	11	15	17	18	32	16	18	13	31	22	38	40	10	24	26
			大体当てはまる	81	73	68	70	61	64	55	51	69	70	60	61	59	71	61
		76.3%	あまり当てはまらない	12	17	19	17	11	25	29	37	5	10	3	3	30	10	10
			当てはまらない	1	1	1	1	0	0	4	4	0	1	3	1	5	0	5

	在籍数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
3学年	157	110	当てはまる	26	36	38	30	31	22	20	26	39	23	43	42	21	31	30
			大体当てはまる	68	50	58	60	61	61	51	54	59	62	58	59	53	63	57
		70.1%	あまり当てはまらない	13	20	12	15	14	23	32	26	10	22	8	5	32	12	16
			当てはまらない	0	2	2	2	3	0	6	3	0	2	0	2	3	2	3

	在籍数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
保護者計	412	319	当てはまる	62	76	77	74	109	55	64	63	118	72	130	130	49	86	95
			大体当てはまる	219	192	190	193	168	191	167	155	177	192	167	171	168	201	172
		77.4%	あまり当てはまらない	33	46	45	42	35	65	73	84	19	47	14	9	84	26	32
			当てはまらない	1	3	6	5	4	1	14	13	1	4	4	4	12	2	11

<職員>

	配布数	回収数/率	適合度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8	項目9	項目10	項目11	項目12	項目13	項目14	項目15
職員計	66	65	当てはまる	11	21	14	30	10	6	9	14	29	19	23	18	21	18	12
			大体当てはまる	47	37	44	31	43	48	44	34	30	44	38	35	37	36	41
		98.5%	あまり当てはまらない	5	7	7	4	11	9	12	15	6	2	3	10	5	11	7
			当てはまらない	1	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	2	1	0	4

適合度	項目16	項目17	項目18	項目19	項目20	項目21	項目22	項目23	項目24	項目25	項目26
当てはまる	5	21	13	19	13	18	10	18	17	14	11
大体当てはまる	28	37	40	41	36	45	39	37	42	49	39
あまり当てはまらない	22	5	9	4	11	1	13	7	4	1	12
当てはまらない	10	1	1	1	5	0	1	2	1	0	2

※ 学校長, 教頭, 非常勤講師, SSW, SC, パート, ALT, 育休・病休職員を除く